

(仮称) 弥生町六丁目公園基本設計について

意見交換会で出された意見を踏まえて、(仮称) 弥生町六丁目公園基本設計をまとめたので報告する。

1. 意見交換会の実施結果

○実施日時及び参加状況等

平成 28 年 12 月 13 日(午後 2 時～) 参加者 2 名 南中野区民活動センター
平成 28 年 12 月 14 日(午後 7 時～) 参加者 4 名 南中野区民活動センター
平成 28 年 12 月 19 日(午後 7 時～) 参加者 20 名 コーシャハイム中野弥生町集会所

○意見交換会後の募集状況

平成 28 年 12 月 13 日～12 月 27 日 メール 1 名

○主な意見と区の考え方 (※同趣旨の意見は一括している。)

① 公園利用・管理について

No.	出された意見の概要	区の考え方
1	開園時間は何時から何時までか。休みはあるのか。	公園は 24 時間開放する。体験学習センターの運営時間は今後検討する。
2	公園を管理するのは誰なのか、また常駐管理をするのか。民間業者に管理を委託した場合、責任の範囲はどこまでか。	今後、民間を活用した管理体制の検討を進め、その中で常駐管理についても検討する。区が設置する公園であるため、いずれのケースでも区が責任の当事者となる。
3	具体的にどんな民間事業者に運営を委託するのか。	今後、いろいろな民間事業者と意見交換を行い、民間を活用した管理体制の検討を行う。
4	コスト的に維持管理体制は持続可能なものなのか。	維持管理費の低減につながる民間活用を今後検討する。
5	民間企業の選定で夜間も常駐してもらうことを条件にすることは出来ないのか。	夜間の常駐はしない。
6	自主事業活用スペースはどのような利用を考えているのか。個人に貸し出しを行うのか。	公園を管理する民間事業者が公園運営で活用する空間であり、類似事例では、菜園や区民花壇として活用されているケースがある。
7	イベント広場は何のイベントを想定しているのか。音の出るイベントも想定しているのか。	多少音の出るイベントについては、運営や時間帯に配慮しながら検討する。
8	体験学習センターは公園を利用した活動な	具体的な運営方法は今後の検討となるが、

	ら使用可能ということだが、どういう使い方をしたらいいか分からない。また、夜間も利用できるのか。	地域防災行事等、公園と施設を一体的に活用した地域利用が想定される。また、夜間の利用については、参画する民間事業者の企画次第である。
9	体験学習センターの利用を公園利用者に限ると利用頻度が下がらないのか。公園利用者に優先権を与えて、空きが出た場合は、他の人が使えるようにネット等を活用して、工夫してほしい。	都市公園法で公園施設は、公園の設置目的に沿った利用に限定される。したがって、他の貸室のような会合を目的とした利用はできない。
10	死角をなくし、見通しの良い木の配置や夜間照明を検討してほしい。特にトイレ周りが暗いと犯罪に繋がりがやすい。	園内は、安全安心まちづくり条例等の規定に沿った必要照度を確保する。また、見通しの悪い部分や防犯上懸念される部分には、防犯カメラを設置する。
11	24時間開放であれば、ホームレスが寄りつかないか心配である。	ホームレスが居座る場合は、早期に対応して常態化しないようにする。また、賑わいのある公園とすることで、そうした環境が生まれないようにしたいと考えている。
12	この地域には交番がない。公園に交番を設置すれば、交通面や安全面で良いのではないか。将来的に配置可能なスペースを確保すべきである。	警察に問い合わせたところ、「本地域において、交番の設置予定はない」との回答を受けた。

② 一般施設について

No.	出された意見の概要	区の考え方
13	水流れの水はどこから引くのか。滝には神田川の水を有効活用してはどうか。	水道水を消毒し、循環させる。神田川の水は衛生的ではなく、都市型氾濫河川なので、利用しない。
14	高齢者の憩いの場としてどのように利用できるのか分からない。高齢者が野菜等を育てる活動スペースを確保すれば、今までと違った公園の使い方ができる。	公園を活用した企画については、施設を利用して野菜栽培を学習し屋外で菜園を楽しむ企画や、施設で学んで屋外で健康運動を実践する企画など、高齢者も楽しめる企画を想定している。
15	体験学習センターは防音対策をするのか。	通常の建築物に備わる防音レベルで音楽室等特別な防音対策は行わない。
16	イベント広場に屋根は取り付けられないのか。広さは足りているのか。	屋根は取り付けない。地域規模のイベントを考えているため、広さは充足していると考えている。
17	多目的広場でテニスの壁打ちをしたい。	周りに住宅地も多いので、壁に当たる音の

		対策を踏まえて検討する。
18	多目的広場では、種目によって時間を限定するのはどうか。球技が可能であるため、禁止種目を決めるのは難しくないか。	管理者がいない公園でルールだけで縛るのは厳しいが、今回、管理者が常駐できれば、時間限定での利用も可能になると考えている。
19	トイレは日中2箇所、夜間1箇所で足りるのか。イベントを行うなら必要個数が違うのではないか。	日常利用としては充足していると考えている。イベント時に追加が必要な場合、マンホールトイレを活用した仮設トイレの設置も可能であると考えている。
20	駐輪場は34台で足りるのか。	公園利用実態調査の推計値から、34台で足りると考える。イベント時などは、公園の空いている空間を臨時的に利用することも可能である。
21	川沿いの遊歩道の照明灯について、方南通り側の出入口に1基設置して欲しい。	方南通り側に園内灯を1基設置する。
22	西側の道路について、既存の擁壁は撤去するのか。	既存の擁壁は撤去して、現在の位置よりも公園側に新しく擁壁を設置する。
23	コーシャハイムや近隣公園内では、犬等のペットが立入り禁止である。一定のルールの下、この公園内で自由に歩き回れる十分なスペースを確保してほしい。	管理運営方法については今後検討するが、リードを付けていれば、園路のみペットと一緒に散歩できるように考えている。
24	既存のエゴノキやユリノキは移動するのか。	既存の位置で活用する。
25	防虫対策は検討しているのか。	防虫対策の必要が生じた場合は、公園管理の中で適切に対処する。
26	果樹を植えることで鳥害被害が生じる恐れがあるのではないか。	近隣住民の方の生活に大きく影響を及ぼすようであれば対応していく。公園は自然環境の提供も役割のひとつなので、バランスを取りながら考えていく。
27	アジサイがあると花の期間を長く楽しめる。	四季を楽しむことも公園のテーマなので、ご意見を参考に検討する。

③ 防災施設について

No.	区民等からの意見・要望	区の考え方
28	マンホールトイレが13基もあるが、災害や地震があった時に誰がテントを組み立てるのか。また、テントをしまっておく場所も必要ではないのか。	近年のマンホールトイレは設置しやすい仕様となっていて、公園管理者や地域の防災会と連携しながら設置をすることになる。テント等の防災施設に付属する設備は体験学習センターか清掃事務所内に置く予定で

		ある。
29	マンホールトイレと防災井戸以外に防災設備はあるのか。	停電時に公園に避難できるよう、主要な出入口にソーラー式の照明灯を設置する。
30	ソーラー式の照明灯の他に体験学習センター上にソーラーパネルを設置することは考えていないのか。	屋根のソーラーパネルの設置は今のところ考えていない。

④ その他

No.	区民等からの意見・要望	区の考え方
31	西側の道路が 6mに拡幅されると交通量が増え、子供や高齢者の交通事故が懸念されるため、配慮してほしい。	道路拡幅の他に道路に沿って公園側に幅員 2 mの遊歩道を整備する。
32	西側道路が相互通行になると、方南通りからの出入りが増える。交差点の進入形態について警察と協議しているのか。	事前協議は行っている。今後も警察と協議を行っていく。
33	工事の順番として、西側の道路拡幅を一番にできないのか。現況としてかなり狭く、とても危険である。	工事の請負者が施工計画を作成し、決定する。ご意見は施工会社に伝える。
34	公園で遺跡が発掘されたので、説明書きを設置してほしい。	出土品の展示はできないが、埋蔵文化財調査図書などを体験学習センターのロビー等に設置することは可能であり、今後検討する。
35	公園内に区の広報板と町会の広報板を設置してほしい。	町会等の地縁団体が地域活動を目的に設置する掲示板は、設置位置と内容によっては許可が可能であるため、設置を希望する町会があれば、個別で相談してほしい。

2. 意見交換会後に変更した点

- 基本設計(案)からの主な変更点
 - ・川沿い遊歩道の出入口に照明灯を 1 基設置

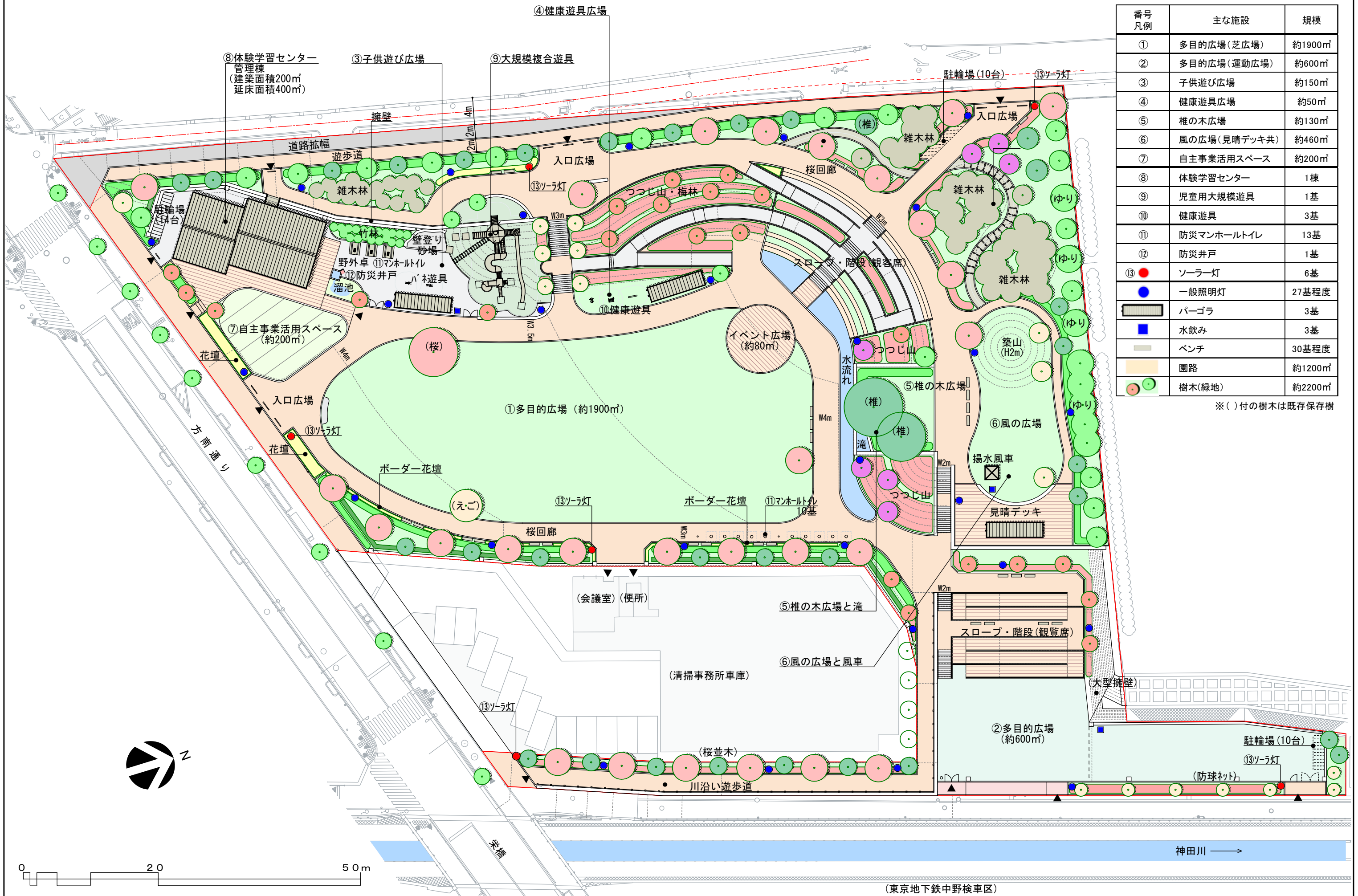
3. 基本設計について

別紙、基本設計図のとおり

4. 今後の予定

平成 28 年度	基本設計・実施設計完了
平成 29・30 年度	整備工事
平成 30 年度	開園

基本設計平面図 S=1:500



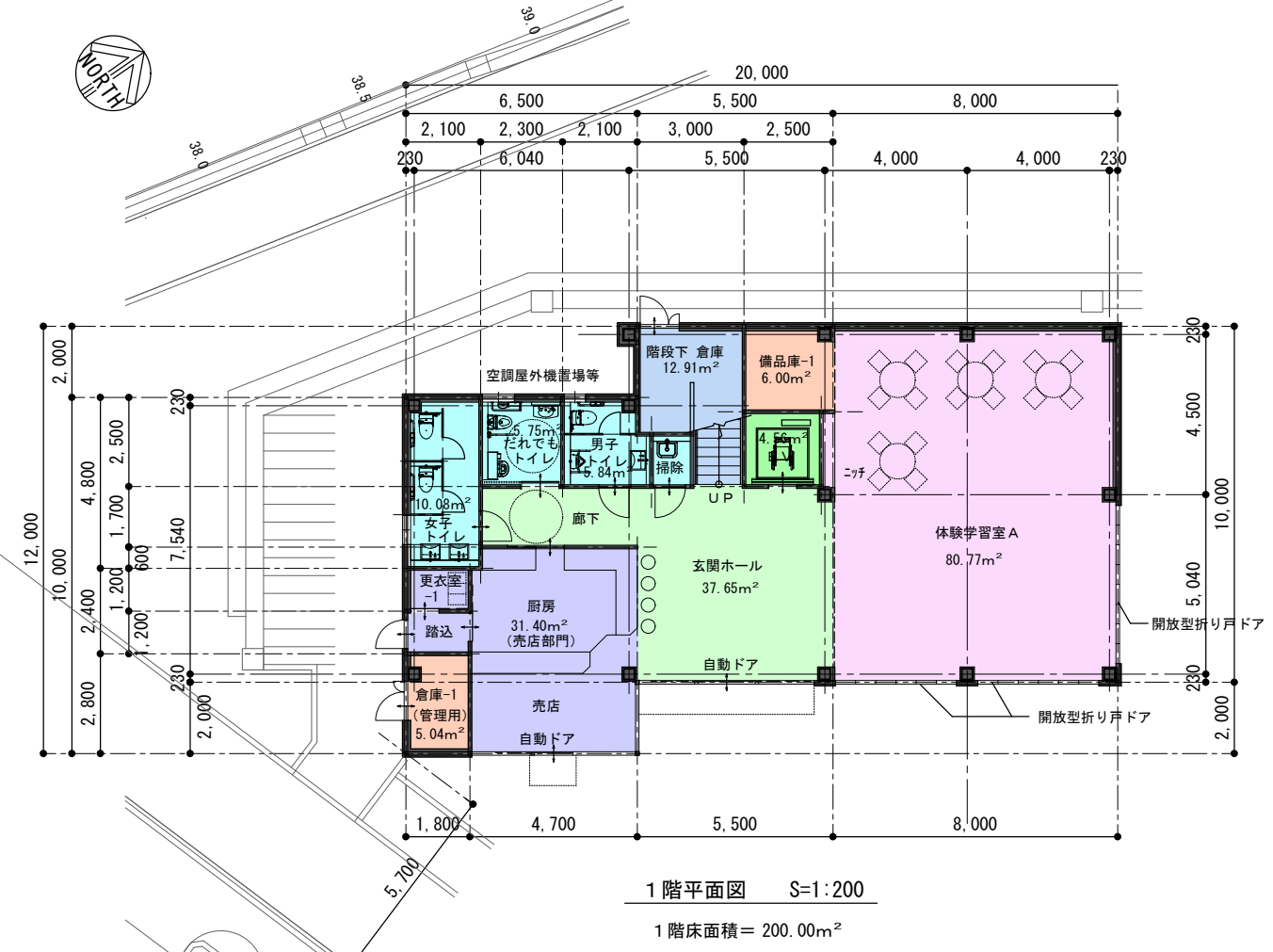
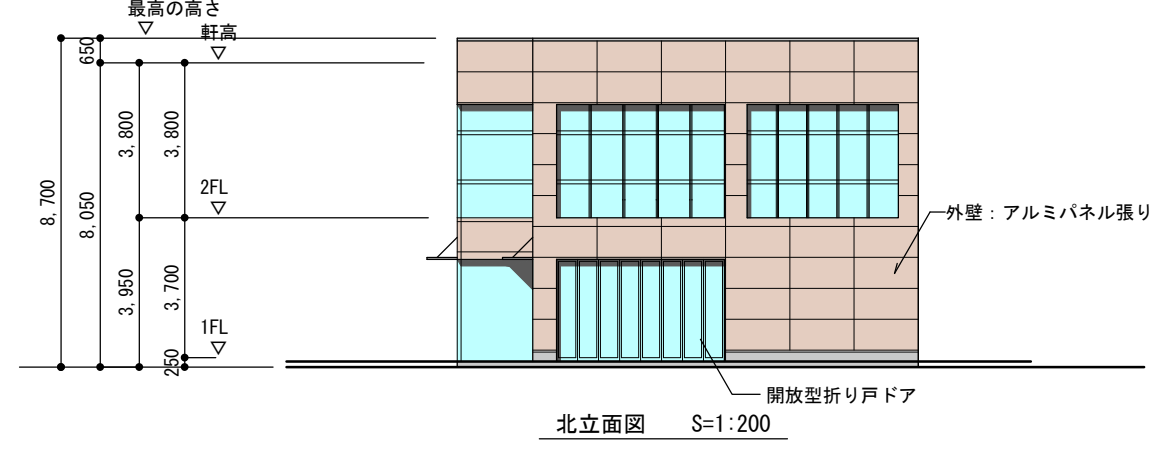
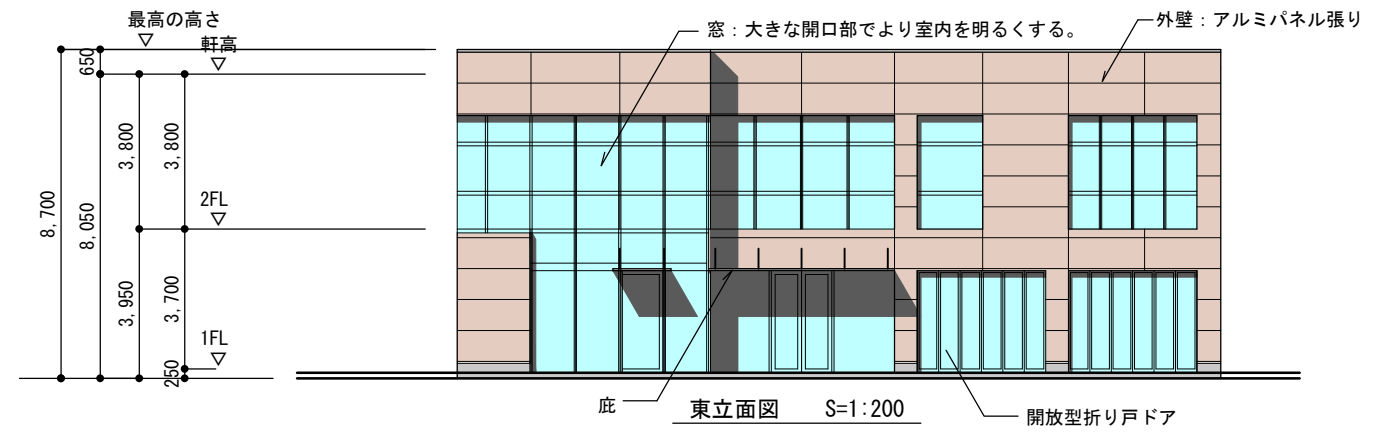
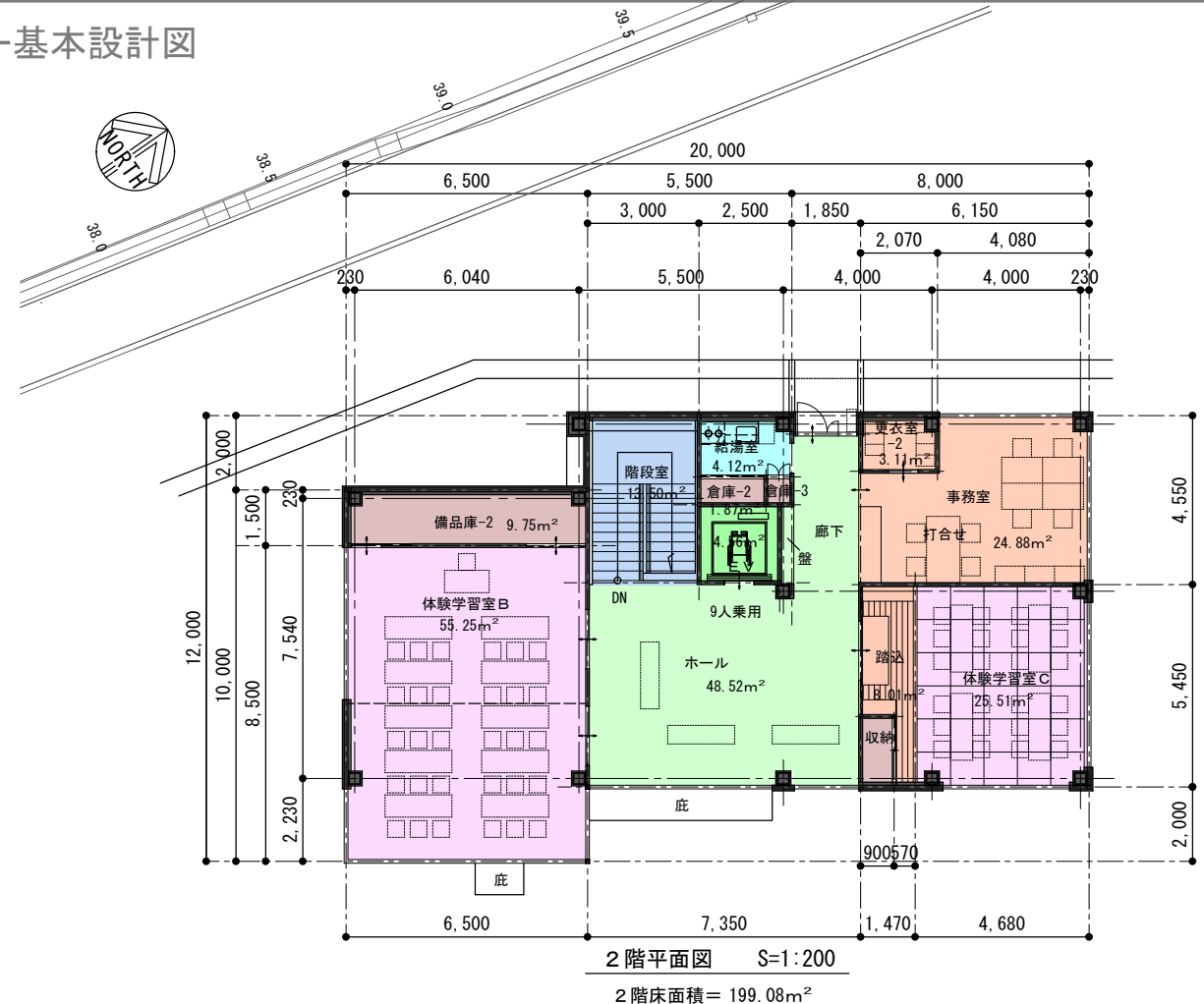
番号凡例	主な施設	規模
①	多目的広場(芝広場)	約1900㎡
②	多目的広場(運動広場)	約600㎡
③	子供遊び広場	約150㎡
④	健康遊具広場	約50㎡
⑤	椎の木広場	約130㎡
⑥	風の広場(見晴デッキ共)	約460㎡
⑦	自主事業活用スペース	約200㎡
⑧	体験学習センター	1棟
⑨	児童用大規模遊具	1基
⑩	健康遊具	3基
⑪	防災マンホールトイレ	13基
⑫	防災井戸	1基
⑬	ソーラー灯	6基
●	一般照明灯	27基程度
■	パーゴラ	3基
■	水飲み	3基
■	ベンチ	30基程度
■	園路	約1200㎡
●	樹木(緑地)	約2200㎡

※()付の樹木は既存保存樹



(東京地下鉄中野検車区)

体験学習センター基本設計図



建築概要

敷地面積	10,120.26m ²
都市計画区域	都市計画区域内
用途地域	第1種中高層住宅専用地域、近隣商業地域
容積率(法定)	第1種中高住専=200% 近隣商業=400%
容積率(実質)	3.95%
建ぺい率(法定)	第1種中高住専=60% 近隣商業=80%
建ぺい率(実質)	1.98%
防火地域	準防火地域、防火地域
その他区域	第2種高度地区、第3種高度地区
工事種別	新築
主要用途	事務所
建築面積	200.00m ²
延べ面積	399.08m ²
建物の高さ	8,700mm
構造規模	鉄骨造 2階建て

所要室一覧表

1階	体験学習室A	80.77m ²
	売店部門	31.40m ²
	男子トイレ	5.84m ²
	女子トイレ	10.08m ²
	だれでもトイレ	5.75m ²
	備品庫-1	6.00m ²
	倉庫-1	5.04m ²
	E V	4.56m ²
	玄関ホール・廊下	37.65m ²
	階段室	12.91m ²
合計	200.00m ²	
2階	体験学習室B	55.25m ²
	備品庫-2	9.75m ²
	体験学習室C	25.51m ²
	踏込(収納含む)	8.01m ²
	事務室	24.88m ²
	更衣室	3.11m ²
	給湯室	4.12m ²
倉庫-2、-3	1.87m ²	
E V	4.56m ²	
ホール・廊下	48.52m ²	
階段室	13.50m ²	
合計	199.08m ²	